

2009年3月5日

## 地球快適化インスティテュート設立について

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都港区、社長：小林 喜光）は、2009年4月1日付で、株式会社地球快適化インスティテュート（本社：東京都港区、社長：小林 喜光）を設立することとなりましたのでお知らせいたします。

三菱ケミカルホールディングスグループは、中期経営計画「APTSIS 10」の中で、企業活動の判断基準を Sustainability（資源・環境）、Health（健康）、Comfort（快適）と定め、持続的企業価値の向上のための戦略を策定・遂行しながら、世界のリーディングカンパニーを目指しています。21世紀の今日、CO<sub>2</sub>増加による気候変動の激化をはじめとする地球環境問題、エネルギー資源の枯渇、水・食糧危機、そして健康問題など、人々が直面している問題への取り組みが必須となっています。当グループは、さまざまな事業を通じて、これら諸問題を解決し、人々の健やかで豊かな暮らしの実現に貢献していきたいと考えています。

このたび設立した地球快適化インスティテュートは、上記の当グループの戦略遂行を長期的視点からサポートすべく、以下をミッションとして設立されました。

1. 社会的動向に関する情報を継続的に収集、解析することにより、未来のパラダイムシフト、人々のニーズ、ウォンツを予測し、MCHCグループへ定期的に発信する。
2. これらの予測に基づいて、事業への“道筋”を考え、コア技術について世界中の先端的研究者をコーディネートし、自然科学のみならず、社会科学的な視点など多角的なアプローチで研究を推進する。
3. 得られた研究成果を基に、MCHCグループでの事業化のため、上記諸問題の解決策をMCHCに提案する。

今後具体的な調査・研究内容については、地球快適化インスティテュート内に設置されるさまざまな分野の外部有識者にて構成されるアドバイザリーボード（別紙参照）から

の意見も取り入れながら策定してまいります。基本的な研究領域は以下のとおりです。

1. 環境・資源・エネルギー（例：CO<sub>2</sub>の炭素資源化）
2. 水・食糧
3. 健康（新しい医療に関わる技術開発）

地球快適化インスティテュートは、グローバルなネットワークを駆使しながら当グループの長期的な視野にたった研究活動及び事業活動をサポートすることを通じ、人々の健やかで豊かな暮らしのために貢献してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先  
株式会社三菱ケミカルホールディングス  
広報・IR室  
TEL: 03-6414-3730

会社概要

1. 社名 株式会社地球快適化インスティテュート  
(英文社名 : The KAITEKI Institute, Inc.)
  
2. 役員 代表取締役社長  
小林 喜光(株式会社三菱ケミカルホールディングス代表取締役社長)  
取締役所長  
グレン・フレドリクソン(カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)  
取締役副所長  
田中 栄司(株式会社三菱ケミカルホールディングス執行役員\*)  
アドバイザリーボード議長  
新國 時生(株式会社三菱ケミカルホールディングス常務執行役員\*)  
アドバイザー(五十音順)  
北野 宏明氏(NPO システム・バイオロジー研究機構会長)  
小宮山 宏氏(東京大学総長)  
志浦 諒氏(応用光学研究所主任研究員 研究統括)  
原 丈人氏(デフタ・パートナーグループ会長)  
他 2 名予定
  
3. 設立日 2009 年 4 月 1 日
  
4. 資本金 1,000 万円
  
5. 本社所在地 東京都港区
  
6. 従業員数 10 名(設立時)

\*2009 年 4 月 1 日より、地球快適化インスティテュートの職に専念する。

以上